

新たな教育センター（宍粟市立総合教育センター）について 概要版

1 基本的な考え方

国の動向

- 「新たな教育振興基本計画(R5～R9)」
①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

宍粟市の教育をとりまく状況

- ①人口が4万人を割り込み、少子化・過疎化が予想を上回るスピードで進行する中、小規模校の良さを生かした取組や幼小連携・小中一貫など宍粟市の特徴ある教育の推進が求められる。
②全国的に不登校が増加する中、宍粟市は増加に歯止めがかかっている。引き続き個人のニーズに応じた、きめ細やかな支援が必要である。
③全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国水準とほぼ同程度であるが、今後も、学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実を図るために、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 基本コンセプト

宍粟の子どもたちが安心して楽しく学校園所生活を送り、将来に向けて「よりよく生きる力」を身に付けていくためには、教職員等が心身・社会的に健康で、常にモチベーションをもち、教育活動に取り組める体制が重要で、また、技術の発達や新たなニーズなど就学前保育・学校教育を取り巻く様々な変化に対応できる環境が整備されていることが重要である。そのため、以下の4点を基本コンセプトとして、新しい総合教育センターを創造する。

- 1 超スマート社会到来に求められる教育・保育内容の研究・開発拠点
- 2 学び続ける教職員等に必要な実践的な研修の企画・実施拠点
- 3 子ども・保護者を対象にした発達や悩み等の相談・支援拠点
- 4 学校・地域が教育を核として地域活力を生み出す交流拠点

子どもたちの将来の展望を広げる教育の探究と創造

～新たな学びの創造と活力の創出の好循環～

